事例No.	1703
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	兵庫県神戸市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

給水装置工事のリモート検査

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県神戸市】
給水装置工事のリモート検査

DX　水道事業

兵庫県神戸市水道局配水課

● 取組の概要

給水装置工事の検査の効率化を実現するため、リモート検査を導入した。

◆総事業費　なし

◆背景

- 給水装置工事の審査業務と検査業務は、水道局の5か所の事業所で行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により経営改革が必要となり、令和3年5月に1か所に集約した。
- 事業所の集約により、スケールメリットを活かした業務の効率化のほか、職員の育成や審査・検査内容の統一化などが図られた一方、検査場所への移動の長距離化や長時間化により、必要な検査数を処理できないことが懸念された。
- この課題を解決するため、遠隔で検査を行うリモート検査を導入することとした。

◆具体的内容

- タブレットのWeb会議アプリを用い、事業所から検査場所を遠隔で確認し、現地の工事業者と双方向にコミュニケーションをとりながら検査を実施することとした。

◆効果

- 事務所職員の現地訪問が不要となったことにより、燃料費及び高速道路料金が削減された（▲約200千円/年）。
- 移動時間の削減により、検査可能件数が増加し、業務が効率化された。

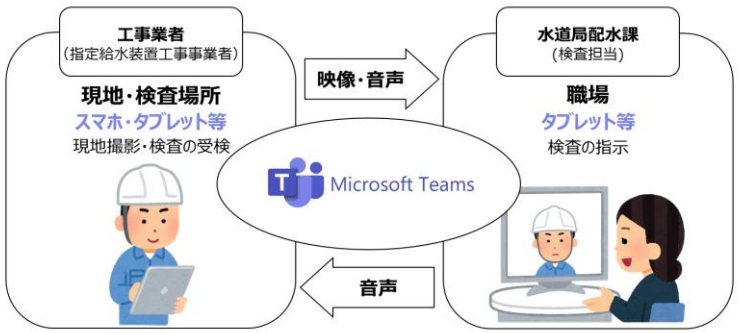
● 取組のポイント

- 事業費を削減するため、汎用性の高いWeb会議アプリ（Microsoft Teams）を採用した。
- リモート検査の活用を促進するため、工事事業者への研修会を開催した。
- 現地訪問が不要となったことにより、次の効果があった。
  ① 開始時間の正確性の向上（移動による遅れがないため）
  ② 移動経路の確認や駐車場所の確保等の事務の軽減
  ③ 保有車両台数の削減

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,515,014人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　557.03km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　1,506,702人（令和3年度末時点）

給水装置工事のリモート検査イメージ



● 取組のスケジュール

- 令和2年度に検討を開始し、令和3年1月から試行実施。
- 令和3年5月（事務所統合と同時期）から運用開始。

● 今後の展望

- 更なる普及を促進するため、リモート検査推進地区を拡大する。
- 今後、リモート検査の普及状況を踏まえ、検査業務の更なる効率化を推進する。